

あゆみ年表 ～ 平成17年 ～

17. 1. 1 稚内海上保安部をめぐる平成16年の10大ニュース

- ①ロシア人船員をけん銃実包不法所持で逮捕
- ②ロシア人船員を大麻不法所持で逮捕
- ③油違法排出船にボンド制度適用
- ④利尻島で魚の残さを不法投棄していた水産加工場を摘発
- ⑤改正 SOLAS 法の無通報（通報時間前入港）外国船3隻を道内初の警告
- ⑥改正 SOLAS 法の無通報（通報時間前入港）で全国初の検挙
- ⑦カンボジア籍木材運搬船荷崩れ、木材流出
- ⑧サハリン国境警備隊との洋上会談
- ⑨野球チーム「海保 WAVES」悲願の初優勝
- ⑩「稚内みなと南極まつり」への参加

17. 3. 8 「稚内港船舶津波対策協議会・稚内港台風対策委員会」設立

稚内港における津波の発生及び台風等による海難を未然に防止するため、「稚内港船舶津波対策協議会・稚内港台風対策委員会」（会長：稚内海上保安部長、会員：34団体）が設立された。

17. 4. 1 稚内航行援助センター発足

船舶航行の安全に関する情報提供等を付加した総合的な航行安全行政の推進を行うため、稚内航路標識事務所が稚内海上保安部に統合され稚内航行援助センターが発足した。

17. 4. 16 排他的経済水域においてかに籠無許可操業でベリーズ国籍漁船船長逮捕

宗谷海峡をパトロール中の巡視船しらかみが、野寒布岬の北方約37km付近の我が国排他的経済水域内で、かに籠操業中のベリーズ国籍漁船S号を現認。「排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律違反」容疑で同船船長を逮捕した。



17. 7. 7 礼文島沖漁船衝突海難

礼文島金田ノ岬の北北東約7kmの海域で、刺網漁船（6トン、1名乗組）が転覆状態で発見された。通航船舶の調査等により、衝突相手船は7日稚内港を出港し19日に石狩湾新港に入港したカンボジア国籍貨物船C号（203トン）と判明。7月26日C号一等航海士を業務上過失往来危険容疑で通常逮捕した。



17.11.22 いか釣漁船転覆海難

僚船からいか釣り漁船（19トン、3人乗組）と連絡が取れないとの通報により、捜索中の第一管区海上保安本部千歳航空基地所属の航空機が、野寒布岬から北東約5km付近海域で転覆している該船を発見。特殊救難隊員が船橋内から2名及び船員室から1名を揚収したが死亡が確認された。



17.12.1 MICS（沿岸域情報提供システム）の運用開始

稚内海上保安部での気象・海象やライブカメラによる映像、海上工事、定置網設置状況など、海の安全に関する情報をリアルタイムに提供するMICSの運用が開始された。

17.12.19 防波堤灯台の倒壊

礼文島香深井漁港南防波堤灯台が、猛烈に発達した低気圧の影響により、防波堤先端部の堤体ごと倒壊しているのが発見された。倒壊後、緊急用簡易標識を設置し、平成19年3月16日に復旧した。

